

平成27年度 後期 保護者アンケート 平成28年1月実施

NO.1 考えて表現できる子どもに育ってきている <考察・改善点>

項目	A	B	C	D	合計
割合 (%)	14%	74%	12%	0%	100%

AとBを合わせると88%である。研究テーマ「考え表現する子」を目指し、算数科と体育科で授業実践を重ねた。お互いに考えを出し合い高め合う学級集団づくりを通して、自信のもてる児童が増えている。

NO.2 友達や命あるものに思いやりの気持ちをもって接している

項目	A	B	C	D	合計
割合 (%)	32%	61%	6%	2%	100%

AとBを合わせると93%で、前期同様高い割合になった。学級や学年集団の中での仲間意識が育ってきている。トラブルや乱暴な行動、相手を傷つける言動については、その都度話を聞き注意したり指導したりして、お互いに思いやる気持ちを育てるよう取り組んだ。

NO.3 自分のめあてをもってがんばろうとしている

項目	A	B	C	D	合計
割合 (%)	25%	59%	15%	1%	100%

AとBを合わせると84%であった。めあての意識が高い児童が増えているが、意識できにくい児童もいる。具体的なめあてを決め、達成したら少し上のめあてにするとように、自主的にがんばる力を導き出せるような取組を進めていきたい。

NO.4 楽しく学校生活を送っている

項目	A	B	C	D	合計
割合 (%)	55%	42%	2%	0%	100%

後期も全学年通してA・Bの(特にAの)割合が高く97%を占めた。各学級・学年におけるまとまりが出て、学校行事や児童会の活動にも、積極的に取り組む姿が見られた。人間関係も広がっている。

NO.5 すすんで挨拶している

項目	A	B	C	D	合計
割合 (%)	15%	60%	21%	3%	100%

A・B合わせた割合は75%である。自分からすすんであいさつできるよう、児童会やPTAと連携しながら指導してきたが、自分から言えるまでは育っていない。「おはよう」だけでなく「ありがとう」のあいさつも自然に言えるように指導していきたい。

NO.6 意欲的に学習し、基礎・基本の学力を身に付けてきている

学年	A	B	C	D	合計
割合 (%)	18%	64%	17%	1%	100%

A・B合わせて82%で、前期に比べて3ポイント上がった。各学年とも学年末の復習問題に取り組んでいるので、分からない時にはすぐにやり直したり、繰り返し練習したりして、基礎基本の力の確実な定着に努めたい。

NO.7 授業が、わかりやすいと言っている

学年	A	B	C	D	合計
割合 (%)	27%	53%	18%	2%	100%

AとBのポイントを合わせて80%で、前期に比べて8ポイント下がった。教材教具の工夫や協力指導の体制等により、わかりやすい授業を目指して取り組んできたが、わかりにくいと感じている児童については状況に応じた支援ができるように、さらに取り組むたい。

NO.8 早寝・早起き・朝ごはんなど、基本的な生活習慣を身に付けている

学年	A	B	C	D	合計
割合 (%)	27%	53%	18%	2%	100%

A・B合わせて80%で、前期に比べ1ポイント上がった。保護者の意識は上がっているのに児童の意識が下がってしまっているのが残念である。保健指導を通して規則正しい生活習慣の大切さを意識づけたい。

NO9. 家庭学習や読書など、自ら進んで取り組んでいる

学年	A	B	C	D	合計
割合 (%)	19%	45%	32%	3%	100%

A・B合わせて64%で前期に比べ4ポイント下がった。学力定着のためには繰り返し練習することが大事である。宿題やマイノート、読書や家のドリルなど「10～20分間×学年」をめやすに家庭学習に取り組む習慣をつけていきたい。

NO10. 学校だよりや学級だよりなどのお便りはよく読んでいる

学年	A	B	C	D	合計
割合 (%)	25%	55%	16%	3%	100%

A・B合わせて80%で、前期から5ポイント下がった。児童の中にはカバンの中に何日も入れたままにしている場合もあるようだ。京都市の広報的なプリントも含まれるため数や種類が多くなるが、文書による連絡を基本としているのでプリント等の配布物の確認をお願いしたい。

NO11. 学校は、積極的に学校情報を発信している。 (学校・学級だより、ホームページ等)

	A	B	C	D	合計
割合 (%)	41%	57%	2%	0%	100%

A・B合わせて98%である。ホームページでは今年度も毎日学校での活動の様子を知らせることができた。行事の実施や中止決定等の連絡を行うことも多い。メール配信についても適宜行っているため、これから

NO12. 学校は保護者・地域と交流を深め「開かれた学校づくり」を進めている

	A	B	C	D	合計
割合 (%)	36%	61%	3%	0%	100%

A・B合わせて97%である。保護者・地域と連携を深め、開かれた学校づくりを目指すことができた。学校運営協議会が発足して3年目を迎える。学校行事や地域行事への取組等、さらに進めていく

NO13. 学校は、「子どもの安全」のための取組を進めている

	A	B	C	D	合計
割合 (%)	28%	65%	7%	0%	100%

A・B合わせて93%である。PTAのみなさんには「PTA子供見守り隊」にご協力いただき、今年度も安全に過ごすことができた。ゾーン30も設置され、上京警察署との連携を深めながら、安全への意識を高める取組の充実に努めたい。

NO14. 学校は、一人一人の子どもを大切に教育を進めている

学年	A	B	C	D	合計
割合 (%)	25%	69%	5%	0%	100%

AとB合わせて94%である。アンケートでは、学校の教職員がみんなで見守っているのが心強い、というご意見をいただいた。教職員がそれぞれの立場で関わり、安心して力を発揮できるような教育を進めたい。

NO15. 学校の施設・設備が整備されてきている

学年	A	B	C	D	合計
割合 (%)	19%	66%	14%	0%	100%

A・B合わせると85%である。設備の修理修繕には迅速に対応し、安全な環境づくりに努めてきた。懸案のプール更衣室改善に向け現在予算等の計画を立てている途中である。自由記述欄に書かれている他の内容についても、条件や予算の検討をしながら進めていきたい。

